佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
1	9 ～ 108	計画全般	「　　基準値（2013）」 「現在　基準値（2018）」 「将来　目標値（2024）」	「2013策定時　基準値」 「2018 現在　　基準値」 「2024 将来　　目標値」	計画策定時の2013基準値を掲載する意義は大きいが、基準値が2つ並んで記載されるため、説明が必要である。
2	1 3	計画全般 （社会潮流の変化）	【社会潮流の変化】 ■グローバル化の進展と社会経済情勢の変動による影響 ～そのような中、国際社会全体が持続して発展をしていくために、国や企業、個人が経済利益を追求するだけではなく、環境や社会の問題にも関心や責任を持ち、持続可能な社会づくりに貢献していくことが求められます。	【社会潮流の変化】 ■グローバル化の進展と社会経済情勢の変動による影響 ～そのような中、国際社会全体が持続して発展をしていくために、国や企業、個人が経済利益を追求するだけではなく、環境や社会の問題にも関心や責任を持ち、持続可能な社会づくりに貢献していくことが求められ~~ます。~~ており、国際的にＳＤＧｓ＊の取組が広がっています。 ＊ＳＤＧｓとは？ 　ＳＤＧｓとは、Sustainable Development Goalsの略称であり、一般的に「持続可能な開発目標」と訳されています。2001年に策定されたミレニアム開発目標（ＭＤＧｓ）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国だけでなく、先進国においても取り組む必要があるユニバーサル（普遍的）なものであり、経済・社会・環境の三つの側面を不可分のものとして調和させる統合的な取組として策定されています。 	ＳＤＧｓは、環境のみではなく、社会と経済も含めた３つの側面を調和させることで具体的なゴールやターゲットを達成させていくもので、その理念や考え方は総合計画には欠かせないため、記載すべきである。 また、国際的な目標で、すでに企業が取組を進めるなどの動きもあることから、ＳＤＧｓのロゴマークを取り入れることで、市民目線を意識した計画となる。
3	9 10	1-1魅力ある観光の振興	■背景と課題【課題】３つ目 観光客誘致のためには、情報発信が極めて重要であり、多様な観光資源を効果的に結び付けてＰＲするとともに、ターゲットに応じた適切な情報発信ツールの活用を図る必要があります。 ■取組方針 1-1-2 観光客の誘致 ターゲットに応じた情報発信ツールを適切に活用し、本市の観光情報やイメージを積極的かつ効果的に発信することにより、宿泊客を中心とした観光客の増加に努めます。	■背景と課題【課題】３つ目 観光客誘致のためには、情報発信が極めて重要であり、広域的な連携も図りながら多様な観光資源を効果的に結び付けてＰＲするとともに、ターゲットに応じた適切な情報発信ツールの活用を図る必要があります。 ■取組方針 1-1-2 観光客の誘致 ターゲットに応じた情報発信ツールを適切に活用し、広域的な連携も図りながら本市の観光情報やイメージを積極的かつ効果的に発信することにより、宿泊客を中心とした観光客の増加に努めます。	経済活動の広域化が進む中、他市と連携した広域的な観光振興施策が必要である。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
4	10	1-1魅力ある観光の振興	■背景と課題【課題】４つ目 観光ニーズの多様化に対して、本市ならではの豊かな自然や歴史、温泉・ダム湖等の観光資源、~~世界文化遺産に推薦された近代化遺産~~ 明治日本の産業革命遺産の構成資産の一つである三重津海軍所跡、バルーンフェスタやひなまつりなどを観光産業の振興に活かしていくことが求められています。 ■取組方針 1-1-1 観光機能の整備 観光イベントの充実を図るとともに、自然や健康、体験志向等のニーズを踏まえ、本市固有の資源を活かした観光サービスの質の向上を図ります。	■背景と課題【課題】４つ目 観光ニーズの多様化に対して、本市ならではの豊かな自然や~~歴史、~~温泉・ダム湖等の観光資源、~~世界文化遺産に推薦された近代化遺産~~ また明治日本の産業革命遺産の構成資産の一つである三重津海軍所跡等の歴史・文化を磨き上げるとともに、バルーンフェスタやひなまつりなどのイベントなどを による活性化等によりブランド力の向上を図り、観光産業の振興に活かしていくことが求められています。 ■取組方針 1-1-1 観光機能の整備 観光イベントの充実を図るとともに、自然や健康、体験志向等のニーズを踏まえ、観光サービスの質を高めるとともに、本市固有の資源を活かした観光サービスの質 の磨き上げ、ブランド力の向上等を図ります。	昨今、ダイレクトアクセス（直接必要なところに必要なアクセスをする、直接行く）の傾向が強くなるなど、地域に個性がないと埋没してしまう恐れがある。佐賀のブランドを磨き上げるとともに、それに連動したまちづくりや人づくりが重要となる。
5	19	1-4総合的な農業の振興	■取組方針 1-4-1 農業経営力の強化 ＪＡ等と連携し、生産性の高い品種の作付拡大~~や、米の直播栽培~~ 、ＩＴや高度な環境制御技術などの新技術の導入を進め、生産性向上と効率化を図~~ることによ~~り、農業経営力の強化をめざします。	■取組方針 1-4-1 農業経営力の強化 ＪＡ等と連携し、生産性の高い品種の作付拡大~~や、米の直播栽培~~ 、スマート農業を活用したＩＣＴや高度な環境制御技術などの新技術の導入を進め、生産性向上と効率化を図~~ることにより、~~ります。また、マーケット・インによる生産を進め、農業経営力の強化をめざします。	・ＪＡ以外との連携などで経済的な競争を促し、生産性を向上させる必要がある。 ・農業、林業、水産業の分野において、ＩＣＴの積極的な活用が必要である。
6	22	1-5森林保全と林業の振興	■取組方針 1-5-1 市産木材の利用促進 木材の消費を拡大するため、公共事業への積極的な市産材の活用に加え、補助制度の活用や新たな加工品の研究・開発など、市産材の利用を促進します。	■取組方針 1-5-1 市産木材の利用促進 ~~木材の消費を拡大するため、~~ 森林の更新・循環による適切な維持管理を図るため、公共事業への積極的な市産材の活用~~に加え、~~を進めるとともに、補助制度の活用や新たな加工品の研究・開発、木質バイオマスの活用など、市産材の利用拡大を促進します。	事業者の高齢化、従事者の減少などの課題を抱えている中、豊富なみどりの資源を持つ佐賀市にとって、木質バイオマスエネルギーの有効活用は、エネルギー転換を目指し新たな価値を生み出すポテンシャルになるとともに、課題を解決する方策としても大きな可能性があるため、官民連携にて取組を進める必要がある。
7	22	1-5森林保全と林業の振興	■取組方針 1-5-2 効率的な供給体制の整備 木材の安定した供給体制を再構築するため、森林・林業再生の拠点づくりに取り組みます。森林施業の効率性に配慮し、災害に強い林内作業路や林道等の基盤整備を行います。また、新たな森林経営管理制度を活用し森林施業の集約化を行うとともに、高性能林業機械の導入を促進し、効率性や安全性の向上を図ります。	■取組方針 1-5-2 効率的な供給体制の整備 木材の安定した供給体制を再構築するため、森林・林業再生の拠点づくりや新たな森林経営管理制度を推進します。また、災害に強い林内作業路や林道等の基盤整備を行い、高性能林業機械の導入を促進するとともに、ＩＣＴ等の先端技術を活用したスマート林業の実現に向けた取組を進め、森林施業の効率化・省力化を図ります。	農業、林業、水産業の分野において、ＩＣＴの積極的な活用が必要である。
8	25	1-6特色ある水産業の振興	■取組方針 1-6-3 水産業経営環境の整備 漁業経営の安定と生産環境改善に向けて、浚渫等による漁港の環境整備を進めるとともに、ノリ製品の高品質化、生産コストの削減、労働時間の短縮等のための施設整備を支援します。	■取組方針 1-6-3 水産業経営環境の整備 漁業経営の安定と生産環境改善に向けて、浚渫等による漁港の環境整備を進めるとともに、ノリ製品の高品質化、生産コストの削減、労働時間の短縮等のための施設整備を支援します。また、佐賀県有明海漁業協同組合や佐賀県と連携しながら、スマート水産業に向けたＩＣＴの活用を推進します。	農業、林業、水産業の分野において、ＩＣＴの積極的な活用が必要である。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
9	28	2-1総合的な防災・危機管理対策の充実	■取組方針 2-1-2 地域の防災力の向上 市民の防災意識の向上や自主防災組織の結成・育成強化、消防団の組織体制の整備を進めるとともに、各種訓練の実施などにより、災害対応能力の向上を図ります。また、災害時における地域と行政の連絡体制を構築します。	■取組方針 2-1-2 地域の防災力の向上 市民の防災意識の向上や自主防災組織の結成・育成強化、消防団の組織体制の整備を進めるとともに、各種訓練の実施などにより、災害対応能力の一層の向上を図ります。また、災害時における地域と行政の連絡体制を構築します。	成果指標「非常持ち出し袋の準備や室内の地震対策をしている市民の割合」の実績が低いため対策が必要である。
10	33	2-3地域で守る生活者の安全確保	■取組方針 2-3-1　防犯対策の充実 地域の自主防犯組織の活動を支援するとともに、警察、防犯協会、教育機関等の関係機関と連携し、犯罪防止に向けた情報発信や啓発に取り組~~みます。~~むとともに、犯罪被害者等が必要とする施策を総合的に推進します。	■取組方針 2-3-1　防犯対策の充実 地域の自主防犯組織の活動を支援するとともに、警察、防犯協会、教育機関等の関係機関と連携し、犯罪防止に向けた情報発信や啓発、環境整備に取り組みます。また、犯罪被害者等が必要とする施策を総合的に推進します。	市民に身近な犯罪や、子どもや女性が被害に遭う街頭での犯罪、児童生徒が凶悪な犯罪の被害者となる事件などが後を絶たない中、地域の目の減少と見守りの空白地帯を無くし、犯人の早期検挙や犯罪抑止にもつなげ、子どもをはじめ地域社会の安全確保を図っていくためには、公共空間での防犯カメラの設置促進が重要となる。
11	35 ～ 37	2-4計画的な土地利用の推進	■めざす姿（成果目標） 自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われている。 ■背景と課題【課題】１つ目 ・人口減少社会の到来や急速な高齢化の進行、厳しい財政状況、環境問題の深刻化、多発する災害、経済活動の停滞など刻々と変化する社会経済潮流の中、拡散型市街地の進展は、社会資本の整備や維持管理に対する費用対効果の低下や、市民の日常生活に必要な公共サービス機能の非効率化など、様々な問題を引き起こす可能性があります。 ■取組方針 2-4-2 土地利用の規制・誘導 各種法規制や開発許可制度の運用などによる適正な土地利用の規制・誘導を行います。	■めざす姿（成果目標） 自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われ~~ている~~、地域拠点連携を踏まえたコンパクトで機能的なまちづくりができている。 ■背景と課題【課題】１つ目 ・人口減少社会の到来や急速な高齢化の進行、厳しい財政状況、環境問題の深刻化、多発する災害、経済活動の停滞など刻々と変化する社会経済潮流の中、~~拡散型市街地の進展は、~~５０戸連たん制度を含めた開発による郊外への市街地の拡大は、人口減少の歯止めに寄与している一方で、空き地・空き家の増加要素の一つであり、また、社会資本の整備や維持管理に対する費用対効果の低下や、市民の日常生活に必要な公共サービス機能の非効率化など、様々な問題を~~引き起こす可能性があります~~ 抱えており、対応が必要となります。 ■取組方針 2-4-2 土地利用の規制・誘導 都市機能集約型や地域拠点連携型のまちづくりの実現に向け、各種法規制や５０戸連たん制度を含む開発許可制度の運用~~などによる適正な~~ の適正化を図り、土地利用の規制・誘導を行います。 【用語説明】 ＊５０戸連たん制度：市街化調整区域内の概ね５０以上の建築物が連たんしている区域で、一定の条件を条例で定めることにより開発行為を可能とする制度。	・50戸連たん制度は、空き家率の上昇や中心市街地の空洞化などの問題まで抱えている。開発許可制度の視点のみならず、大きな視点で政策的に取り組むという文言の追加が必要である。 ・50戸連たん制度、空き家率の上昇などの骨格に関わる課題について、早急に取り組むことを位置づける必要がある。 ・50戸連たん制度は、人口流入効果に比べ、宅地供給量が多すぎる。人口減少の中で、市街地を拡大していけば都市経営は成り立たない。長期的な問題があることを記載すべきである。 ・近隣市町からの流入による一時的な人口減少の歯止めという近視眼的な効果のみではなく、将来負担の残らない長期的視点が必要である。 ・人口減少の中、交通手段の確保と合わせ、いくつかの拠点に誘導していく政策が必要であり、コンパクトなまちづくりを行う方針を記載すべきである。 ・50戸連たん制度は、教育の問題や子どもたちの安全なども含めて進めるべきである。 ・空き家問題は、発生した空き家への対応も必要だが、その問題が生じる原因となる部分への対応も必要である。 ・50戸連たん制度は、令和元年８月の浸水被害に大きく影響しているため、早急な対応が必要である。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
12	50	3-3共生社会をめざす障がい者福祉の充実	■背景と課題【背景】２つ目 ・発達障がい、高次脳機能障がいをはじめとして、より個々の特性に合わせた支援が求められています。 ■背景と課題【課題】１つ目 ・障がい者が地域で安心して暮らしていくためには、地域の理解のもと、障がい者を支援する家族をはじめ、医療、保健、福祉、教育の専門機関などと連携した総合的な支援が必要です。特に、発達障がい、高次脳機能障がい、難病などの特性の周知、個々の特性に合わせた福祉サービス等の確保が求められています。	■背景と課題【背景】２つ目 ・発達障がい、高次脳機能障がい~~をはじめとして~~ 、医療的ケアが必要な重症心身障がいなど、より個々の特性に合わせた支援が求められています。 ■背景と課題【課題】１つ目 ・障がい者が地域で安心して暮らしていくためには、地域の理解のもと、障がい者を支援する家族をはじめ、医療、保健、福祉、教育の専門機関などと連携した総合的な支援が必要です。特に、発達障がい、高次脳機能障がい、医療的ケアが必要な重症心身障がい、難病などの特性の周知、個々の特性に合わせた福祉サービス等の確保が求められています。	医療的ケアを受けながら生活している方に対応するサービスが、今後はさらに必要になるため、重症心身障がいに関する記載も必要である。
13	51	3-3共生社会をめざす障がい者福祉の充実	■取組方針 3-3-3 就労への支援 一人でも多くの障がい者が就労できるよう、国や県の各関係機関・窓口との連携を強化します。また、一般就労が困難と思われる障がい者については、農福連携の推進などにより多様な福祉的就労の場を確保するとともに、障がい者就労施設等からの物品調達を推進するなど、障がい者の工賃アップを図り、障がい者の経済基盤の強化に努めます。	■取組方針 3-3-3 就労への支援 一人でも多くの障がい者が就労できるよう、国や県の各関係機関・窓口との連携を強化します。また、一般就労が困難と思われる障がい者については、農業など異業種との連携推進などにより多様な福祉的就労の場を確保するとともに、障がい者就労施設等からの物品調達を推進するなど、障がい者の工賃アップを図り、障がい者の経済基盤の強化に努めます。	林業、水産業でも担い手育成に取り組まれている中で、障がい者の就労支援は農業分野以外でも必要である。
14	56	3-5自立を支える生活福祉の充実	■取組方針 3-5-1適正扶助の推進 生活保護世帯ごとの実態の的確な把握と、実情に即した相談･支援体制の構築により、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するよう努めます。また、適切な助言や支援を行うため、ケースワーカーや相談員の専門性の向上を図ります。	■取組方針 3-5-1適正扶助の推進 生活保護世帯ごとの実態の的確な把握と、実情に即した相談･支援体制の構築により、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するよう努めます。また、適切な助言や支援を行うため、ケースワーカーや相談員の専門性の向上や関係機関等との連携を図ります。	成果指標の達成状況が低いが、目標値は当初のままとなっている。目標値を変えないのであれば、取組に何らかの追加記載が必要である。
15	57 59	4-1地球にやさしい低炭素社会の構築	―	【用語説明】 *温室効果ガス排出量：温室効果ガスは、赤外線を吸収し再放出するため、地球を暖める効果を持つもので、主に燃料、電気、熱の使用に伴って排出される。地球温暖化対策実行計画(区域施策編)において、2030年度までに市域の温室効果ガス排出量を2013年度比27%削減する目標を掲げている。国の統計資料等を基に佐賀市の規模(世帯数、産業人口など)に按分して算出。	成果指標の「温室効果ガス排出量」の削減率について、補足説明が必要である。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
16	58	4-1地球にやさしい低炭素社会の構築	■背景と課題【課題】１つ目 ・地球温暖化に対しては、市民一人ひとりの日常生活や事業活動の中で、エネルギーの消費を抑制するなど二酸化炭素の排出削減につながる取組を増やしていく必要があります。~~また、二酸化炭素をほとんど排出しない~~太陽光や水力、風力、バイオマス等をはじめとする再生可能エネルギーを本市の特性に応じて普及促進することや二酸化炭素の有効活用による排出量の削減が求められています。 【取組方針】 ~~本市では2010年（平成22年）に環境都市宣言を行い、市民一人ひとりが環境に対する責任を自覚し、環境保全に積極的に取り組む姿勢を示しています。~~ 市民一人ひとり、また地域や事業者に対して省エネルギーなどの環境負荷を減らすことのできる取組を積極的に啓発していくとともに、地域経済の向上を意識し、市民・事業者と協働して再生可能エネルギーの普及や二酸化炭素の活用促進に努め、低炭素社会の構築を推進します。また、～	■背景と課題【課題】１つ目を修正、４つ目に追加 ・地球温暖化に対しては、市民一人ひとりの日常生活や事業活動の中で、エネルギーの消費を抑制するなど二酸化炭素の排出削減につながる取組を増やしていく必要があります。~~また、二酸化炭素をほとんど排出しない~~太陽光や水力、風力、バイオマス等をはじめとする再生可能エネルギーを の現状等を把握し、本市の特性に応じて普及促進することや二酸化炭素の有効活用による排出量の削減が求められています。 ・地球温暖化対策をはじめとする環境施策は、世界が共通の目標を持ち、環境の課題解決だけでなく、経済・社会の課題を統合的に解決することが求められており、ＳＤＧｓやパリ協定などの国際的な潮流を意識した取組が必要です。 【取組方針】 ~~本市では2010年（平成22年）に環境都市宣言を行い、市民一人ひとりが環境に対する責任を自覚し、環境保全に積極的に取り組む姿勢を示しています。~~ 市民一人ひとり、また地域や事業者に対して省エネルギーなどの環境負荷を減らすことのできる取組を積極的に啓発してい~~くとともに、~~きます。ＳＤＧｓの目標や地域経済の向上を意識し、市民・事業者と協働して再生可能エネルギーの普及や未利用エネルギー及び二酸化炭素の活用促進に努め、低炭素社会の構築を推進します。また、～	・ＳＤＧｓは、環境、経済、社会の３つの側面の調和が必要であるが、その象徴的な環境の施策の中で記載が必要である。 ・佐賀市の環境とエネルギーの施策はかなり推進しているため、再生可能エネルギーの導入量や普及率等もしっかり把握していく必要がある。 ・海洋エネルギーの開発研究も行われている。
17	60 61	4-2持続可能な循環型社会の構築	■背景と課題【課題】４つ目 ・市内の山間部や河川敷、海岸などには、廃棄物の不法投棄が見受けられますが、廃棄物の不法投棄は環境に大きな影響を及ぼすことが懸念されるため、不法投棄の防止を図る必要があります。	■背景と課題【背景】 ・海洋プラスチックごみによる地球規模での環境汚染が、生態系や生活環境等へ悪影響を及ぼすと懸念されており、国連をはじめとする様々な国際会議において、重要かつ喫緊の課題として議論が行われています。 ■背景と課題【課題】４つ目 ・市内の山間部や河川敷、海岸などには、廃棄物の不法投棄が見受けられますが、廃棄物の不法投棄は、海洋プラスチックの問題をはじめ環境に大きな影響を及ぼすことが懸念されるため、不法投棄の防止を図る必要があります。	廃棄物の発生抑制として食品ロスも重要であるが、プラスチックごみの問題は、その対応がかなり必要となっている。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
18	63 64	4-3暮らしに身近な生活環境の向上	■背景と課題【背景】１つ目 ・大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害やペットの適正飼育、空き家・空き地等に係る生活環境の苦情・相談が寄せられており、身近な生活環境への関心が高くなっています。～ ■背景と課題【課題】１つ目 ・大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害対策については、継続的な観測が必要であるとともに、ペットの飼育マナーなど、生活に身近な環境問題について苦情が増加していることから、取組を充実する必要があります。～ ■取組方針 大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害対策、ペットの飼育マナーや空き家等の適正管理など、生活に身近な環境問題について、適切な観測、相談・指導体制を充実します。～	■背景と課題【背景】１つ目 ・大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害やペットの適正飼育、カラス等の有害鳥獣、空き家・空き地等に係る生活環境の苦情・相談が寄せられており、身近な生活環境への関心が高くなっています。～ ■背景と課題【課題】１つ目 ・大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害対策については、継続的な観測が必要であるとともに、ペットの飼育マナー、カラス等の有害鳥獣など、生活に身近な環境問題について苦情が増加していることから、取組を充実する必要があります。～ ■取組方針 大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害対策、ペットの飼育マナー、カラス等の有害鳥獣対策や空き家等の適正管理など、生活に身近な環境問題について、適切な観測、相談・指導体制を充実します。～	成果指標「生活環境苦情件数」の中に含んで有害鳥獣の対応が追加されているが、【背景】【課題】【取組方針】の中にも、その記載が必要である。
19	64	4-3暮らしに身近な生活環境の向上	■取組方針 大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害対策、ペットの飼育マナー、カラス等の有害鳥獣対策や空き家等の適正管理など、生活に身近な環境問題について、適切な観測、相談・指導体制を充実します。	■取組方針 大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の公害対策、ペットの飼育マナー、カラス等の有害鳥獣対策や空き家・空き地等の適正管理、活用の促進など、生活に身近な環境問題について、適切な観測、相談・指導体制を充実します。	空き家・空き地の対策については、リノベーションなどの事例もあるが、背景での記載以外にも積極的に捉えるべきである。
20	71	5-1安心して子育てできる環境の充実	■取組方針 5-1-3 子育て環境の整備 ~~子育て家庭からの気軽な相談や、児童虐待など専門性と長期的対応が必要な相談にも対応できる体制の整備とともに子どもを守る環境の整備を図ります。~~ ~~また、乳幼児の早い時期から~~親の子育てに対する不安を解消するために、親同士の交流の場づくり、学ぶ機会の提供などに取り組みます。あわせて、子育てサークルや地域の子育て支援に関わる団体等の育成を図り~~、地域で見守り支え合う子育て・親育ちを支援し~~ます。	■取組方針 5-1-3 子育て環境の整備 子育て家庭からの気軽な相談や、児童虐待など専門性と~~長期的対応~~継続的支援が必要な相談にも対応できる体制の整備~~とともに子どもを守る環境の整備~~を図ります。 また、乳幼児の早い時期から親の子育てに対する不安を解消するために、親同士の交流の場づくり、学ぶ機会の提供などに取り組みます。あわせて、子育てサークルや地域の子育て支援に関わる団体等の育成を図り~~、地域で見守り支え合う子育て・親育ちを支援し~~ます。	・現行記載の「専門性と長期的対応が必要な相談にも対応できる体制の整備」が見直しで削除されているが、この体制整備やさらなる人的配置などは必要であり、記載を残すべきである。 ・現行記載の「乳幼児の早い時期から」が見直しで削除されているが、親の子育てに対する不安の中で、0、1、2歳児の子育てはとても大切であり、児童虐待にも繋がる時期であるため、記載を残すべきである。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
21	70 71	5-1安心して子育てできる環境の充実	■背景と課題【背景】 ― ■背景と課題【課題】４つ目 ・子どもとその家族、妊婦等を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から、より専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的な社会資源を使った支援業務までを行うことが求められています。 ■取組方針 5-1-4 児童虐待への対応 深刻化する児童虐待に対応するために、虐待の発生予防や早期発見・早期対応に努めるとともに、児童相談所などの関係機関との連携強化を図ります。	■背景と課題【背景】 ・児童虐待や養育困難など、厳しい家庭環境にある子どもや妊産婦が増加傾向にあり、各家庭の抱える課題も複雑・深刻化しています。 ■背景と課題【課題】４つ目 ・子どもとその家族、妊婦等を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から、児童虐待などのより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的な社会資源を使った支援業務までを行うことが求められています。 ■取組方針 5-1-4 児童虐待への対応 深刻化する児童虐待に対応するために、相談・支援体制を強化します。また、児童相談所、警察、学校、幼稚園・保育所（園）等、地域団体などの関係機関との連携強化を図り、虐待の発生予防や早期発見~~・~~、早期対応に努めます。~~るとともに、児童相談所などの関係機関との連携強化を図ります。~~	・児童虐待への対応においては、児童相談所では手に負えない事案への対応を進めるためにも、警察についての記載が必要である。 ・児童虐待への対応においては、早期発見が非常に重要であり、そこを担う地域などについても記載し、積極的に取り組むべきである。 ・児童虐待への対応については、背景と課題にも記載が必要である。
22	69 70	5-1安心して子育てできる環境の充実	■めざす姿（成果指標） 子育て世代が、大きな不安や負担を感じることなく子育てに誇りと喜びを感じ、これから子どもを産み育てたいと思っている人が、出産や育児に不安を感じていない。 ■背景と課題【課題】５つ目 地域とのつながりの中で子どもを産み育てることができ、子育ての誇りと喜びが実感できるよう、社会全体で支援していくことが必要です。	■めざす姿（成果指標） 子育て世代が、大きな不安や負担を感じることなく子育てに誇りと喜びを感じ、これから子どもを~~産み育てたい~~“うみ育てたい”と思っている人が、出産や育児に不安を感じていない。 ■背景と課題【課題】５つ目 地域とのつながりの中で子どもを~~産み育てる~~ うみ育てることができ、子育ての誇りと喜びが実感できるよう、社会全体で支援していくことが必要です。	・世の中には様々な事情があって、お産の経験ができない方も、里親となり一生懸命に子育てされている方もおられる中で、「産む」という言葉が必要なのか。 ・少子化に歯止めがかからない中、産むということが大切であり、人口の視点では産の字がよい。 ・漢字や読み方に捉われるのではなくて、平仮名の「うむ」とし、言葉そのものを大切にした方がよい。 ・ダイバーシティの視点では、産まない選択が否定されることにつながるので、産の字よりも生の字がよい。 ・生の字は生まれる人間を主体に考え、産の字は子どもを産む側を主体に考えているため、どちらを主体に考えるのかの視点も必要である。 ・出産したい人が安心して出産できる状況に、子育てしたい人が安心して子育てできる状況にしたいという気持ちを考えると、「産み育てる」と言葉をつなげるとまとまらない。 ・障害者の害の字を当然のように使っていた時代があったが、今では平仮名を使うことが一般的になった。そこにはいろいろな思いや時代の中での考え方がある。平仮名でうみ育てるとし、いろいろな意見があってこうしたということまでしてもらうとよい。 ・鍵括弧付きで表現したら、意味があって平仮名で表現したことが市民にも伝わる。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
23	73	5-2就学前からの教育の充実	■背景と課題【課題】４つ目 ・小学校低学年から学校になじめない子どもがいることや、中学校１年生で不登校生徒が急増する問題が顕在化しており、いじめの問題などを含めた取組の強化が必要です。また、～	■背景と課題【課題】４つ目 ・~~小学校低学年から学校になじめない子どもがいることや、中学校１年生で不登校生徒が急増する問題が顕在化しており、~~ 集団での学校生活に困難さを感じている児童生徒がいることや、小・中学校ともに不登校児童生徒が増加傾向にあることから、日頃から児童生徒の様子を注意深く観察し、いじめの問題などを含めたさまざまな取組~~の~~ を強化が~~、~~ する必要~~です~~があります。	成果指標において、幼稚園、保育所(園)から小学校へ円滑な接続ができた割合が高いが、一方で、課題において、「小学校低学年から学校に馴染めない子供がいる」、「中学校一年生で不登校生徒が急増している」との記載がある。先生側から見た連携がうまくできていることと、子どもたちの心理的な部分で馴染みがうまくいっているのかということを改めて考える必要がある。
24	73 75	5-2就学前からの教育の充実	■背景と課題【課題】４つ目 ～。また、インクルーシブ教育の構築をめざし、学校環境を整えるとともに、児童生徒一人ひとりの困り感に寄り添いながら合理的配慮を行う必要があります。 ■取組方針 5-2-3 いじめ、不登校等対策と特別支援教育の充実 （概要） ～ また、全ての特別な支援を必要とする児童生徒が円滑に学校生活を送れるよう環境を整えるとともに、個々のニーズにあった支援ができるように専門機関と連携しながら校内支援体制の充実及び幼保・小・中と切れ目のない組織の構築を図ります。	背景と課題【課題】５つ目 ・近年日本語指導が必要な児童生徒が増加し、教育に対するニーズが多様化していることから、学校生活や学習を多面的に支援していく必要があります。また、インクルーシブ教育の構築をめざし、~~学校環境を整えるとともに、~~ 児童生徒一人ひとりの困り感に寄り添いながら学校環境を整えるなど、合理的配慮を行う必要があります。 ■取組方針 5-2-3 いじめ、不登校等対策と特別な配慮を必要とする児童生徒への 特別支援 きめ細かな教育の充実 （概要） ～ また、~~全ての~~ 日本語指導を必要とする児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒が円滑に学校生活を送~~れ~~ることができるよう環境を整えるとともに、個々のニーズにあった支援ができるように専門機関と連携しながら~~校内支援体制の充実及び~~ 幼保・小・中と切れ目のない組織~~の構築~~ 校内支援体制の充実を図ります。	外国人観光客や在住外国人の増加といった現状を踏まえて、教育面での英語教育や日本語教育、国際理解教育、交流の充実などが必要である。
25	73	5-2就学前からの教育の充実	■背景と課題【課題】６つ目 ・経済情勢の悪化などで家計に深刻な影響が生じており、就学援助などによる 経済的格差が進展する中で、就学援助の認定率は小学校で17%前後、中学校で20%前後と高い水準で推移しており、子どもの教育機会均等の確保が一層求められています。	■背景と課題【課題】６つ目 ・経済情勢の悪化などで家計に深刻な影響が生じており、就学援助などによる 経済的格差が進展する中で、就学援助の認定率は小学校で17%前後、中学校で20%前後と高い水準で推移しており、~~、~~ います。就学援助制度などの周知を図り、支援を必要とする子どもの教育機会均等 ~~の~~ を確保することが一層求められています。	経済的格差が進展する中で、教育機会の確保と記載があるが、夏の制服が受け取れずに学校を数日休んだ生徒がいる実情を踏まえて、この教育機会の確保を記載いただきたい。

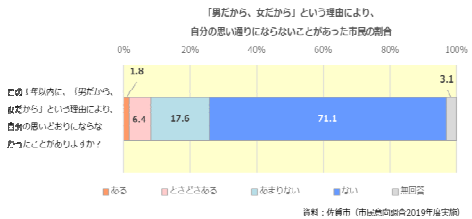
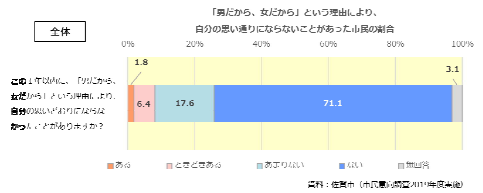
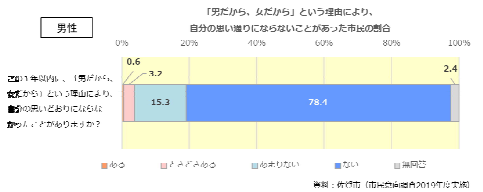
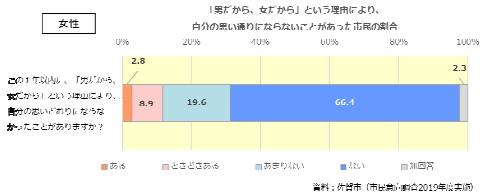
佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
26	77	5-3家庭・地域・企業等の教育力の向上	■成果指標と目標 佐賀市が好きと回答した割合（小学４年生から中学３年生） 【策定時　基準値（2013）】88.7% 【現　在　基準値（2018）】89.5% 【将　来　目標値（2024）】92.0% 佐賀市教育政策市民満足度調査の実施結果 （「すごく好きである」「まあまあ好きである」の割合の合算）	■成果指標と目標 「子どもへのまなざし運動」を意識して子どもと関わるようになった市民の割合 【策定時　基準値（2013）】35.4% 【現　在　基準値（2018）】34.4% 【将　来　目標値（2024）】45.0% 佐賀市教育政策市民満足度調査の実施結果 （「関わるようになった」「意識はするようになった」の割合の合算）	めざす姿の「子どもたちは、自らが社会の一員であると認識し、責任を自覚している」と、成果指標の「佐賀市が好きと回答した割合」は関連がほぼないため、新たに設定するのであれば別の成果指標がよい。
27	81	5-4自ら学ぶ生涯学習の推進	■取組方針 5-4-1 多様な学習機会の提供 県や大学等との相互連携と役割分担により、生涯にわたって自己啓発に取り組むことができるよう、学習機会の充実を図ります。 公民館等 においては様々な地域資源の発掘・活用などに努め、活動や学び合いを通じて得た成果がまちづくり活動などにつながるような生涯学習を推進します。また、図書館が担う役割を明確にし、利用価値を高めていきます。	■取組方針 5-4-1 多様な学習機会の提供 県や大学等との相互連携と役割分担により、生涯にわたって自己啓発に取り組むことができるよう、学習機会の充実を図ります。 公民館等 においては様々な地域資源の発掘・活用などに努め、活動や学び合いを通じて得た成果がまちづくり活動などにつながるような生涯学習を推進~~します~~ するとともに、SNS等を活用した効果的な情報発信の実施、住民ニーズや社会的課題を的確に捉えた気軽で参加しやすい講座・事業等に取り組みます。 また、図書館については、市民が生涯にわたって自主的な学習を行うための情報や資料等を整備し、市民ニーズに沿った運営を行います。~~が担う役割を明確にし、利用価値を高めていきます。~~	成果指標の達成状況が低いが、目標値は当初のままとなっている。目標値を変えないのであれば、取組に何らかの追加記載が必要である。
28	91	6-2情報共有の推進	■成果指標と目標 市政への提言の数（件） 【策定時　基準値（2013）】409件 【現　在　基準値（2018）】460件 【将　来　目標値（2024）】520件	■成果指標と目標 提言への対応数（件） 【策定時　基準値（2013）】280件 【現　在　基準値（2018）】209件 【将　来　目標値（2024）】364件	めざす姿の「市政に市民の意向が適切に反映されている」に対応する成果指標として、市政情報の発信や寄せられた意見の件数に留まらず、実際に市民の意見を市政へ反映する姿勢を示す必要がある。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
29	94 ～ 96	6-3人権尊重の確立	■成果指標と目標値 人権・同和問題に関心がある市民の割合　（女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人・ＬＧＢＴなどへの偏見や差別・インターネットによる人権侵害など） ■背景と課題【課題】１つ目 社会情勢の変化に~~伴う様々な人権問題に対応するためには~~伴い、女性、子ども、障がいのある人、外国人、ＬＧＢＴ、犯罪被害者などの人権問題について理解や認識を深めることが求められています。～ 【用語説明】 ＊ＬＧＢＴ：「レズビアン（女性として女性が好きな人）、ゲイ（男性として男性が好きな人）、バイセクシャル（好きになる相手が同性の場合も異性の場合もある人）、トランスジェンダー（生まれた時の性にとらわれない生き方をする人）」の英語名の頭文字からなる言葉で、性的少数者の人たちの総称としても用いられている。	■成果指標と目標値 人権・同和問題に関心がある市民の割合　（女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人・ＬＧＢＴｓなどへの偏見や差別・インターネットによる人権侵害など） ※グラフ中「ＬＧＢＴ」も「ＬＧＢＴｓ」に修正 ■背景と課題【課題】１つ目 社会情勢の変化に~~伴う様々な人権問題に対応するためには~~伴い、女性、子ども、障がいのある人、外国人、ＬＧＢＴｓ、犯罪被害者などの人権問題について理解や認識を深めることが求められています。～ 【用語説明】 ＊ＬＧＢＴｓ：「レズビアン（女性として女性が好きな人）、ゲイ（男性として男性が好きな人）、バイセクシャル（好きになる相手が同性の場合も異性の場合もある人）、トランスジェンダー（身体的な性別と性自認が一致しない人）」の英語名の頭文字からなる「ＬＧＢＴ」に、その他の様々な性のあり方を表す「ｓ」を加えたもの。性的少数者の人たちの総称としても用いられている。	最近の傾向として、セクシャルマイノリティがＬＧＢＴの４種類のみでは表現されないため、「ＬＧＢＴｓ」や「ＬＧＢＴ等」の表現がよい。同様に、トランスジェンダーについて「生まれたときの性にとらわれない生き方をする人」は「身体的な性別と性自認が一致しない人」の表現がよい。
30	97 98	6-4個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現		  	成果指標の「「男だから、女だから」という理由により、自分の思い通りにならないことがあった市民の割合」は、男尊女卑の是正に関することだが、市民意向調査回答者の性などを一定にしないと改善とは言えないため、グラフや数値は男女別に表す必要がある。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
31	97 ～ 99	6-4個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	■背景と課題【課題】 ・~~2012年（平成24年）~~ 2017年（平成29年）の国の雇用均等基本調査によると、男性の育児休業取得率は~~1.89~~ 5.14%と~~依然として低く、また、2011年（平成23年）~~ 年々増加しているものの、2016年（平成28年） の国の社会生活基本調査では、１日のうちで家事や育児などに要する時間は、女性~~215~~ 208 分に対して男性~~42~~ 44 分と大変低い水準にあります。そのため、制度整備だけでなく、実効性のあるワーク・ライフ・バランスを推進することが必要です。 ■取組方針 6-4-1個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現 市民への意識啓発や審議会等への参画率の向上など、社会のあらゆる分野への女性の参画を推進します。企業などに対しては、女性の活躍を推進するために、管理職への登用や職域の拡大など、~~自主的かつ積極的な取組の促進とワーク・ライフ・バランスの推進に向けた働きかけを行います。~~ 多様で柔軟な働き方を可能とするワーク・ライフ・バランスの更なる推進に向けた働きかけに努めます。	■成果指標と目標値 男性の1日の家事関連時間「30分未満、全くしていない」人の割合 【現在　基準値（2018）】55.2% 【将来　目標値（2024）】45.2% ■背景と課題【背景】 ・共働き世帯は年々増え続けており、男性が家事・育児に積極的に参加することが求められています。 ■背景と課題【課題】 ・~~2012年（平成24年）~~ 2017年（平成29年）の国の雇用均等基本調査によると、男性の育児休業取得率は~~1.89~~ 5.14%と~~依然として低く、また、2011年（平成23年）~~ 年々増加しているものの、2016年（平成28年） の国の社会生活基本調査では、１日のうちで家事や育児などに要する時間は、女性~~215~~ 208 分に対して男性~~42~~ 44 分と大変低い水準にあります。そのため、制度整備だけでなく、男性の家事参画を推進するための啓発活動や実効性のあるワーク・ライフ・バランスを推進することが必要です。 ■取組方針 6-4-1個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現 市民への意識啓発や審議会等への参画率の向上など、社会のあらゆる分野への女性の参画を推進します。企業などに対しては、女性の活躍を推進するために、管理職への登用や職域の拡大~~など、~~に向けた働きかけを行います。~~自主的かつ積極的な取組の促進とワーク・ライフ・バランスの推進に向けた働きかけを行います。~~また、男女共に多様で柔軟な働き方を可能とするため、企業などにおけるワーク・ライフ・バランスの更なる推進に~~向けた働きかけに~~努めます。	・男女共同参画の促進と言いながら、女性の参画のみに焦点が当てられているため、男性の参画についても記載する必要がある。
32	98	6-4個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	―	■背景と課題【課題】 ・佐賀市における審議会等（法令に基づく各種審議会、委員会等）の委員として、専門的な知識を有する人を選任する場合には、男性の割合が高くなる傾向にあるため、積極的に女性を起用するよう、継続的に働きかけを行っていく必要があります。	他施策の課題の中には、佐賀市の現状を記載しているが、本施策では国の現状のみとなっているため、成果指標の「女性の審議会等への参画率」の状況など、佐賀市の現状を示す必要がある。

佐賀市総合計画審議会　答申一覧

【黒字・赤字】諮問内容　【緑字】答申内容

番号	素案ページ	項目（施策名など）	諮問（修正前）	答申（修正後）	意見・理由
33	104	7-2財政の健全性の確保	■背景と課題【背景】２つ目 老齢人口の増加に伴う~~介護給付費や後期高齢者医療費の増~~医療・介護給付費の増や子ども・子育て支援制度の充実などにより、歳出の増加は避けられない見通しです。	■背景と課題【背景】２つ目 老齢人口の増加に伴う介護給付費や後期高齢者医療費の増などにより、歳出の増加は避けられない見通しです。	歳出増加の要因として、「医療・介護給付費の増加」とならび「子ども・子育て支援制度の充実」を新たに追加されているが、前者は必要ではあるものの抑制したい対象であるのに対し、後者は政策的に拡大させたい対象であるため、持つ意味合いが違う。
34	106	7-3職員の資質向上による業務執行体制の充実	―	■成果指標と目標値 担当している仕事にやりがいを感じている職員の割合（%） 【現在　基準値（2018）】72.9% 【将来　目標値（2024）】80.0%	業務執行体制の充実には、サービスの提供者である職員のモチベーションやモラールの向上が重要となるため、職員の満足度を成果指標に追加する必要がある。
35	107	7-3職員の資質向上による業務執行体制の充実	■取組方針 7-3-1職員の資質の向上 職員一人ひとりがその資質を高め、十分に能力を発揮できるよう人材育成を進めます。	■取組方針 7-3-1職員の資質の向上 職員一人ひとりがその資質を高め、十分に能力を発揮できるよう、職員の意見を取り入れながら、人材育成に最も有効である「職場内研修（OJT）」を強化するとともに、「職場外研修（Off-JT）」を随時見直しながら実施していくこと等により、人材育成を進めます。	成果指標の達成状況が低いが、目標値は当初のままとなっている。目標値を変えないのであれば、取組に何らかの追加記載が必要である。